

審判上の注意（北九州市小連ローカルスタンダード）

新型コロナウイルス感染拡大防止を目指し大会開催時、主・副審判は以下点に配慮し、試合を運営するようお願いします。

- 1：主審・副審は、ベンチスタッフ、控えの選手、審判補助員がマスクを着用していることを常に確認し、コントロールする。
特に、指導者が、タイムアウトやセット間に選手に対し指導を行う際、マスクをずらしたりしていないかを注意する。
- 2：タイムアウトやセット間に指導者の周りに選手が密集していないかを確認し必要に応じて、注意を促す。
- 3：選手交代時に、入れ替わる選手同士の手が接触しないよう副審が注意を促す、また、素早く交代の手続きが終わるよう努める。
- 4：控えの選手が、密になっていなかを常に確認し、注意を促す。
（副審側からは、確認が困難な場合、主審が確認し、副審を通じて注意を促す。）
- 5：行政体育館では、通常の長短笛を使用、小学校体育館での1面開催の場合は原則としてハンドホイッスルを使用する。
通常の長短笛を使用する際には、連盟から配布されるフェイスガードを着用する。
また、ハンドホイッスルを使用する際は、ホイッスルの音がしたらプレイを中止するようコイントス時ゲームキャプテンを通じチームに伝達させる。
- 6：試合中、主審・副審は、これまで以上にアイコンタクトによりコミュニケーションをとり、ゲーム全体をコントロールするよう努める。

以上